

睡眠時無呼吸検査

今回は前回に引き続き、総合健診センターから「睡眠時無呼吸検査」について解説します。

睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時に気道が狭くなることによって無呼吸状態といびきを繰り返す病気です。喉周りの脂肪のほか、生まれながらの身体的特徴や耳鼻科に関する病気が原因であることもあり、必ずしも肥満体質の人に限った病気ではありません。



主な症状

夜間

- 無呼吸といびきを繰り返す
- 寝汗 ■ 何度もトイレ

昼間

- 日中の眠気 ■ 全身の倦怠感
- 頭が重い

リスク

良質な睡眠が妨げられた結果、認知機能が低下し交通事故や仕事上の災害などのリスクが高まります。また、酸素欠乏病態により心臓や血管に負担がかかり、脳卒中や心不全といった生活習慣病の合併症リスクが高まります。

総合健診センターでは睡眠時無呼吸検査(有料)を提供しています。携帯型装置貸し出しによる簡易検査なので、ご自宅で自然な睡眠のデータを収集できます。気になる症状がある方は、まずはお問い合わせください。

※参考「フィリップス OSAS ガイドブック」

運転中の眠気は事故のリスク大!



検査の流れ

- 1 総合健診センターにて申し込み(申込書ご記入)
- 2 フィリップスからご自宅に機器配送
- 3 ご本人が解析センターへ機器発送(郵送)
- 4 健診センターへ結果が届く
- 5 本人に検査結果が届く

費用 ￥8,800(税込)

地域を守るお医者さん

File No.044

友愛記念病院・地域連携室より連携医の先生方をご紹介します



あだち かずたか
足立 和孝 院長先生
あだち眼科

Q

先生の診療のモットーを教えてください

「名医たらずとも良医たれ」という母校・順天堂大学の精神を大切に、心の通う目のホームドクターとして、真心の医療を提供することを目指しています。

Q

先生の得意な疾患を教えてください

白内障手術(2万件以上の経験)をはじめ、緑内障、糖尿病網膜症、小児眼科・斜視など、幅広い眼科疾患の診療・手術を得意としています。

Q

今後どんな医院にしていきたいですか

最新の医療施設を活かし、大学病院と同水準の手術を含めた医療を地域に届けながら、患者さんの話にじっくり耳を傾ける、安心できるかかりつけ眼科でありたいと思っています。近年では近視抑制治療、ロービジョンにも力を入れております。

Q

患者さんにメッセージをどうぞ

目のことで気になることがあれば、どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。皆さんの大切な目を、誠意をもって守り続けてまいります。

あだち眼科 埼玉県加須市南大桑 1620-1 TEL.0480-65-5988